

# THE~KOBECCHO

創刊I3周年記念号



MARCH 1974 NO.155

## 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日第三種郵便物認可

昭和49年3月1日印刷 通巻155号

昭和49年3月1日発行 毎月1回1日発行



神戸文化ホール戯帳・上／原画



## Soft & Elegance

赤い風船は私のところ　今にもあなたのところへ飛んでいきそう

婦人服飾  
KOBÉ

**ベニヤ**

神戸

三宮センター街 391-5528・9  
さんちかレディス・タウン 391-1204

東京

日本橋東急百貨店 1 F 211-0511

大阪

梅田阪急三番街 372-8093  
上本町近鉄百貨店 2 F 779-1231  
ミナミ地下センター 213-6128

モデル／浦谷三世

Photo／藤原保之



あなただけの思い出を  
たいせつに……。



世界の宝石店

MIKIMOTO

神戸店—三ノ宮—神戸国際会館

☎221-0062

●大阪支店—堂島—新大ビル ☎341-0247

●京都支店—河原町朝楽師BAL ☎241-2970

●大阪—阪急・阪神・高島屋・松坂屋・  
近鉄アベノ店・近鉄上六店

●本店—東京・銀座 ☎535-4611

©1974 株式会社ミキモト

## 旅のスケッチ<3>

フランチェスカのウルビーノ公夫妻像をみる / 絵・文 西村 功

本物にふれた感激は忘れられない  
ウフィツィ美術館にて





# 神戸っ子'74

「神戸っ子」13周年記念第3回

## BM

ブルーメール賞  
音楽部門受賞者

クラシックバレエ

一筋に生きる

上月 倫子 ヘクラシックバレエ

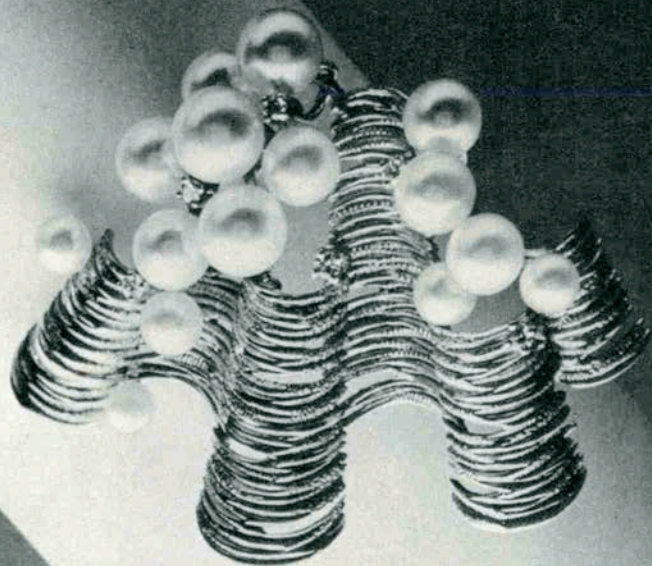
上月倫子―クラシックバレエ一筋に生きる女。谷桃子に師事した当初は「白鳥の湖」の黒鳥という「動」の役をもっぱらとしていた。それから十年。昭和四十七年の「バクチサライの泉」の主役マリアを演じてから彼女の内面における変貌が始まる。それまでの黒の役から白の役、「動」から「静」の領域へ―。成熟するにつれ、外面のみでくれの華やかさから、内面の奥深い処からいぶし銀の如き光輝を放つ演技へと。今、彼女の脳裏を去来するのは、舞台の上で青白く燃える彼女自身の姿なのではないだろうか。現在、上月倫子バレエ研究所で六十名を指導。しかし、ここ二、三年は舞台上に賭けるといふ。この六月の神戸文化ホールでの創作舞踊「鷺娘」で彼女の一つの「昇華」をみる事ができるだろう。松蔭女子短期大学卒業。32歳。神戸市在住。カメラ／藤原保之





パールとダイヤのブローチ K14 ¥210,000

ご愛顧20年 田崎真珠



# TASAKI PEARLS

◎本社 ●神戸市灘合区旗塚通6-3-10 TEL.231-3321 ◎パールファーム神戸 ●神戸市灘区六甲台町24 TEL.871-9289 ◎さんプラザ店 ●神戸さんプラザビル3F TEL.391-4085 ◎大阪支店 ●大阪市南区安堂寺橋通3-38-2南大和ビル5号館 TEL.253-0165 ◎大阪プラザ店 ●大阪ホテルプラザ内 TEL.458-2449 ◎福岡支店 ●福岡市中央区赤坂1-11-13大楠ビル TEL.781-5161

田崎真珠

カタログご希望の方は上記までご連絡下さい。



あなたの真珠はパールマークのお店で

# 神戸っ子'74

「神戸っ子」13周年記念第3回

## BM

ブルーメール賞  
芸能部門受賞者

伝統芸への

情熱を秘めた人

吉井 順一 〈能楽師〉

「日常生活が舞台に出る」と考え、毎日の生活ぶりにまで気をつかう生真面目な人柄である。六百年の伝統を守っているというプライドが、練習しなければならぬ義務を自分に与え、また「芸」は頭で割りきれぬものでなく、稽古を積み重ねて体得していくしかない、さりげなく話す。好きな言葉が世阿弥の「秘すれば華なり」。

控え目な語り口に「芸」への情熱を激しく秘めている。昨年五月、神戸能楽殿で能最高の大曲「道成寺」（赤頭）に取り組んだことで今回の賞が贈られた。一年前から取り組んだとなげなく言う。「先輩からまだまだ吸収させていたきたいのに、後輩に与えていく年代になり、責任を感じます。神戸の能楽のために芯のあるものを残したい」と、終始真面目な答えが返ってきた。42歳。一男一女の父。西宮市自宅稽古場で。カメラ／米田定蔵





確信を持って  
タジマの眼が選んだ  
宝石の名品



白金台ダイヤ入りスターサファイアリング

タジマでは宝石の鑑定を無料でご相談に応じておりますのでお気軽にご利用下さい。  
定休日は水曜日です。

... 宝飾店  
*Tajima*  
タジマ

元町2丁目 TEL 331-5761 代表



「神戸っ子」13周年記念第3回

BM

ブルーメール賞  
文学部門受賞者

心象の世界と

言葉と

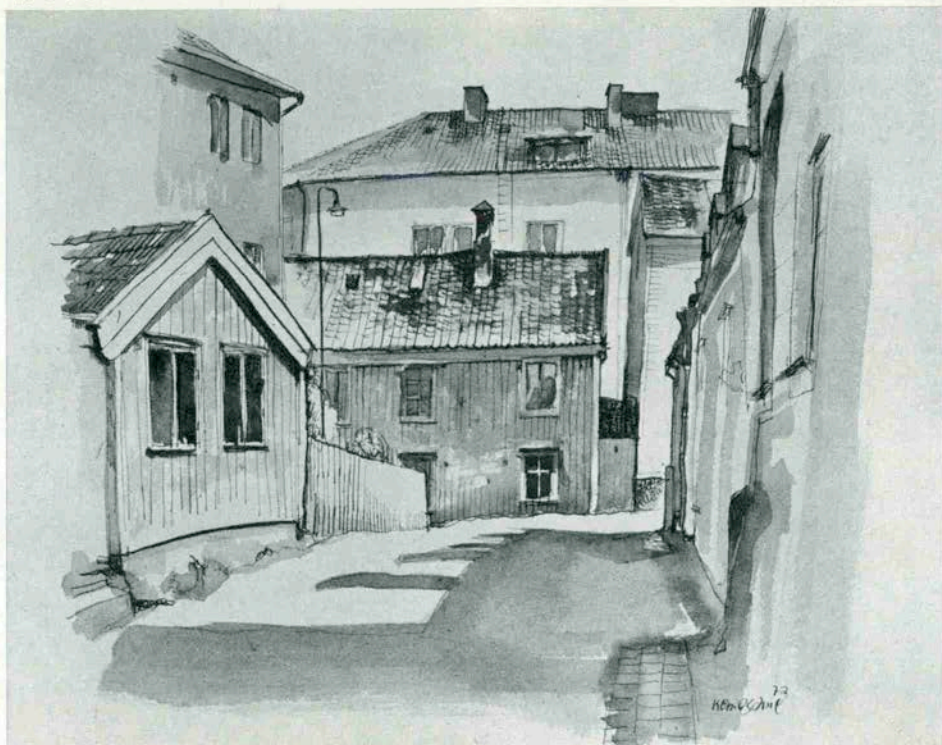
小泉八重子〈俳人〉

城なら——落城。その、最も美しい終焉。  
白鷺城の美しい姿に親しみ育ち、城が大好きだった少女。城を離れ、年を隔て、蘇える城は落城いろをしていた。つめたく透明な——薄明の音色——（「水煙」に寄せた赤尾兜子さんの序）。「人として誰もがひそめ抱いている原罪に似た哀しさ、徒勞の泡粒を句の底に炎やし続け」（あとがきから）た小泉八重子さん。その句の、ほの暗い「世界。心象世界を、言葉に固定することに執拗なまでに誠実であった15年間の作品を集めた処女句集「水煙」は、彼女の内面風景をしのびやかに浮きあがらせている。「渦」「俳句評論」同人。現代俳句協会員。第一回「渦賞」受賞。尼崎市在住。武庫川畔にて。

カメラ／米田定蔵



黄色い壁  
ブルーに輝やく空  
過ぎ去った



人々の思い出がこの建物と共に今なお生きている。



宝石各種

トアロード



神戸ダイヤモンド  
KOBE DIAMOND

TEL. 078(331) 0690・2397



# 神戸っ子'74

「神戸っ子」13周年記念第3回

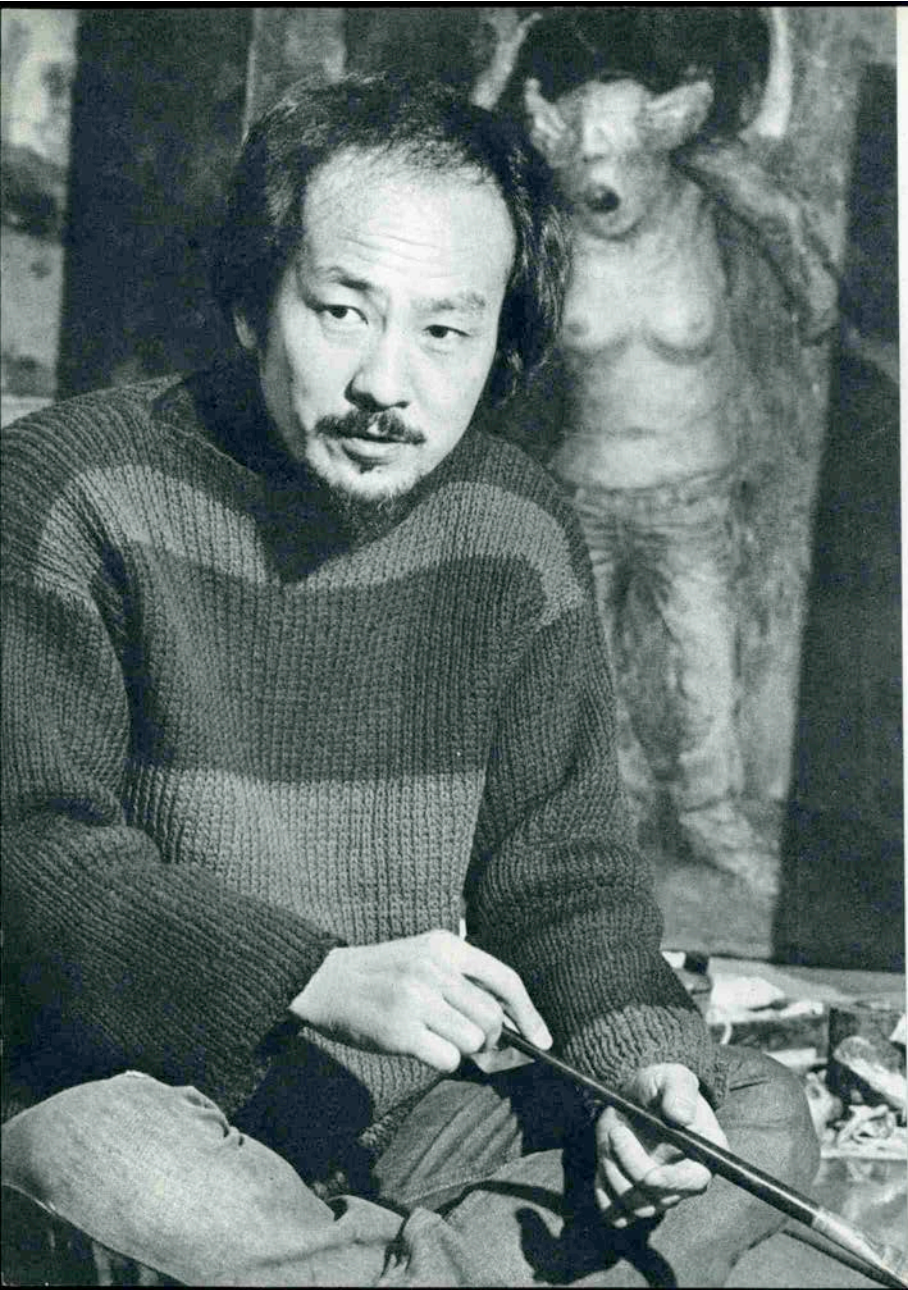
ブルーメール賞  
美術部門受賞者

生活と密着した  
庶民感情を描く  
小西 保文 〈洋画〉

久々の昨年〈神戸元町画廊・東京紀伊國屋画廊〉での個展で、今まで蓄積していたものを一気に爆発させ、やったな——という印象を見る人に与えた。

かたくなな素朴さと土の匂いのある人間の姿、そのままだけは美になりがたいものを剥き出して裸にし人間の原形を追う小西さんの絵は「絵かきは美しいなと思うものをとりだすのになりふりなどかまっちゃやおられん」というご本人の言葉どおり、本当に絵かきが絵を描いたという印象をうける。作品発表に謙虚というか慎重であっただけに今までの力をまとめて発表させ、決してこのまま留まることなく、もっと伸びる人であると高く評価されている。兵庫区在住。43歳。

カメラ／藤原保之





KOBECCO GALLERY <3>

# 神戸っ子 ギャラリ

西村 功 <二紀会会員>



西村功の描く人間には耳がない。絵と向かいあった時、強く強く張った弦を爪で弾くとピンと鳴ったきり微妙な振動をみせながらも何も発しないそんな状態を思いださせる。絵と向かいあった時、やがて来るであろう電車の音や人々の笑い声、話し声や街の雑踏を聞こうとして耳を澄ましているんだけどなんにも聞こえてこない。でもそこで描かれている人はみな、胸を張り前を向いて生きている。血のかよった人間が自分の上にもたらされた運命のドラマを精一杯演じている。モデルの取り澄ました顔でもなく、街の上っ面を撫でただけの絵葉書でもない。そこに住み生きている人が胸を張っている。——不思議な静寂の世界と出会う。

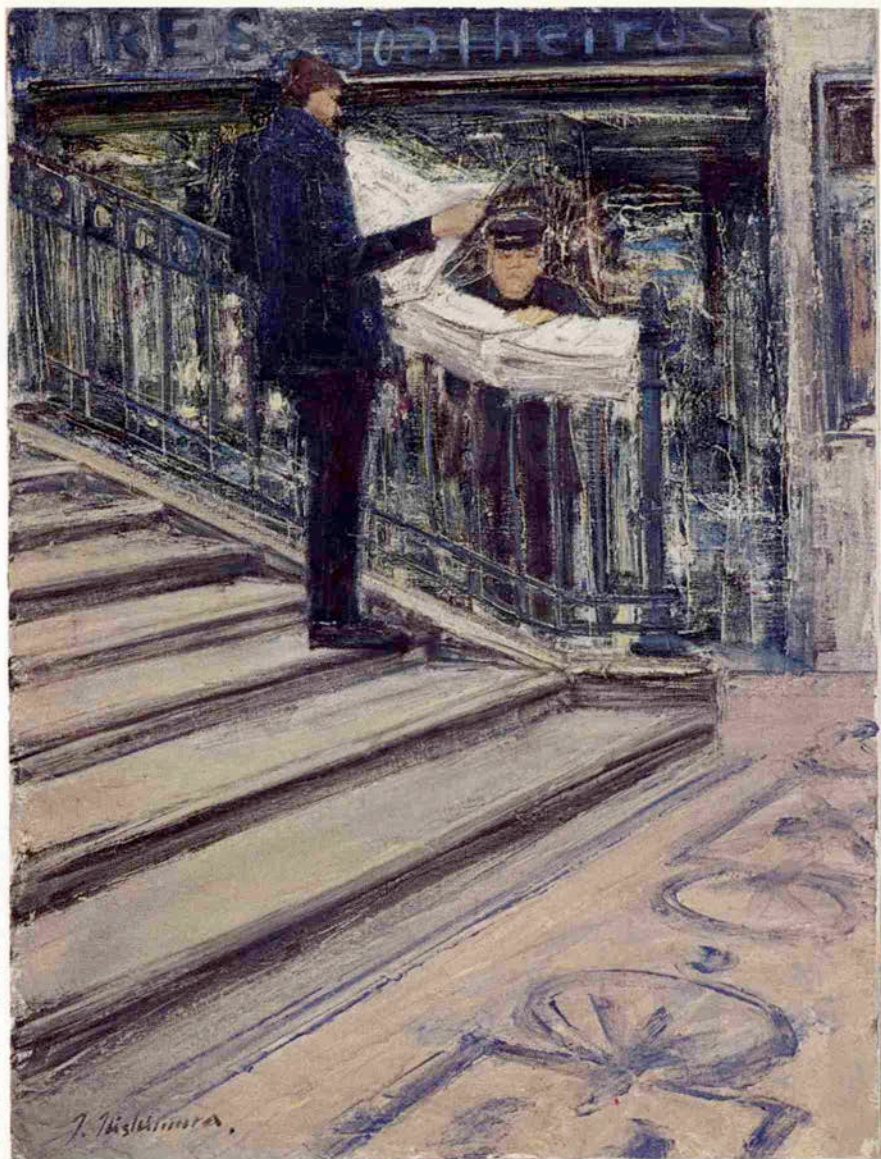
幼ない頃、中耳炎を患って耳が完全に聞こえなくなっていました。音のない世界に住む西村功には、とつても広い心の世界がある。温かくやさしい心の世界がある。「人間の創りだすドラマ『哀愁』を描きたいと思う。ただそれをユーモアのある、ちょっと皮肉なものとして描きたい」と語る。淡くそれでいて現実観をもたせる色調の中に、ほのぼのと漂う西村功の心の世界が見える。

この三月下旬、約一年の予定でバリに向かう。旅行者としてでなく、バリでじつくり生活してみても人間達の息吹に触れたいと。肌で感じたバリの空気は、また不思議な静寂の世界として甦えるだろう。

にしむらいさお

一九二三年大阪に生れる 一九四八年帝美・武蔵野美大卒業 一九五〇年二紀展初入選・佳作賞受賞 一九五一年二紀会同人となる 一九五六年二紀会会員推挙 一九五七年第一回安井賞展出品・朝日新人展出品 一九五九年兵庫県新鋭作家シリーズ展出品 一九六一年大阪府フォルム画廊にて個展（以降毎年開催）フォルム画廊（東京）にて個展（以降毎年開催） 一九六二年第六回安井賞展出品 一九六三年第七回安井賞展出品 一九六五年新鋭作家十五人展出品 一九六六年第九回安井賞展にて安井賞受賞 第二〇回二紀展出品作品第一回文部大臣賞受賞・現代日本美術展出品 一九六七年ギャラリ・ア・フォーラムにて小品展（以降毎年開催） 一九七〇年第一回レヌフ展出品（以降毎年出品）渡欧 一九七一年名古屋九条にて個展 一九七二年渡欧 東灘区在住





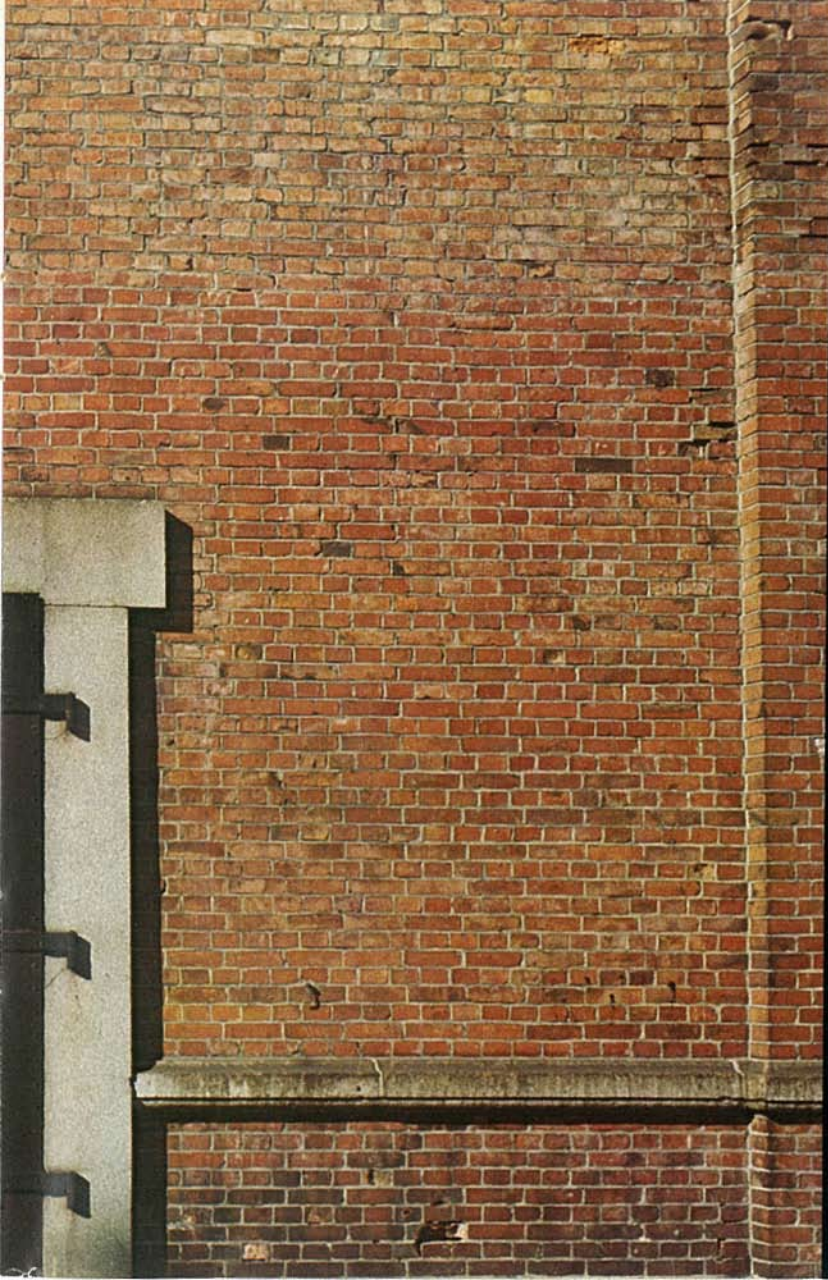
新聞売り(リスボン)  
12号F

# 神戸のディテール

Detail of KOBE 〈12〉

石阪 春生

写真／杉尾友士郎



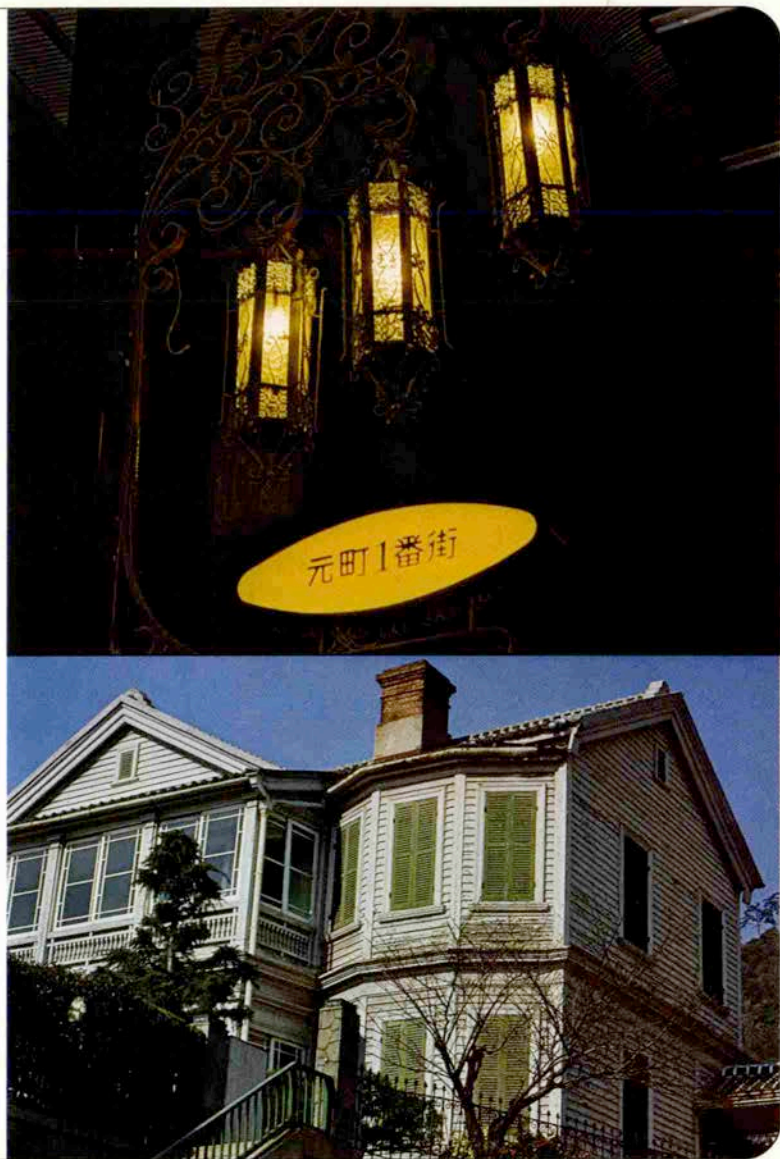




ハイカラ神戸の伝統を生かした  
元町1番街の  
ロマン漂うれんが道は  
春、3月31日完成いたします。

うた  
詩のある れんが道

元町1番街





# MOTOMACHI SHOPPING



# ネクタイは男の勲章

ミリタリーシリーズ <7> 1815年イギリス第2竜騎兵連隊将校



ネクタイの

## 元町バザー

神戸元町1番街

TEL331-7031

東京 東急百貨店

渋谷本店/日本橋店





これは神戸を愛する人々の雑誌です。  
あなたのくらしに楽しい夢をおくる  
神戸を訪れる人にはやさしい道しるべ  
これは神戸っ子の手帖です。

## 3月号目次

- 5 '74ブルーメール賞受賞者/上月倫子/吉井順一/小泉八重子/小西保文
- 12 神戸っ子ギャラリー〈3〉/西村功
- 14 神戸のディテール〈12〉/石阪春生/カメラ・杉尾友士郎
- 21 わたしの意見/青木啓
- 22 ブルーメール賞発表
- 25 ブルーメール賞選考座談会
- 44 随想三題/菅野聖子/橋本武/青木重雄
- 48 ある集いその足あと/コーベ・カメラ・ソサエティ
- 50 れんさい随想/早春譜/橋本憲吉
- 52 随想/花隠の屋根の下/村上常一朗
- 55 神戸っ子対談/柏井健一/上島達司
- 59 経済ポケットジャーナル
- 60 技術ジャーナル/諸岡博樹
- 63 アンデル線/岡田淳
- 66 ファッションインタビュー/三宅一生
- 75 ある集い/コーベ・カメラ・ソサエティ
- 76 神戸百景/カメラ・小山保
- 82 ファッションアイ/カメラ・杉尾友士郎
- 112 神戸の顔〈3〉/キシ・ラヨシさん/文・野口武彦
- 119 今月の催物ご案内
- 120 神戸のアーバンデザイン・モダンリビング/水谷頤介
- 122 神戸を福祉の町に/ホームヘルパー/橋本明
- 124 神戸遊戯誌〈125〉ホッケー①/青木重雄
- 126 動物園飼育日記/亀井一成
- 132 ニューヨークからの便り/竹田洋太郎
- 134 淀長立見席/愛の貴品/淀川長治
- 136 女体百景/カイロの女/H・ジュニア
- 138 ぴっと いん
- 141 神戸百店会だより
- 142 ポケットジャーナル
- 147 連載小説 まだ遅くない/葉月一郎/え・小西保文
- 152 連載小説 曲線ハイウェイ/武田繁太郎/え・横塚繁
- 166 ポエムドコウベ/詩・平田守純/カメラ・藤原保之
- 168 海船港/水上消防署

表紙/小磯良平(部分) セカンドカバー/旅のスケッチ/西村功  
カメラ/米田定蔵 藤原保之  
目次作品/植松室二「樹・人・ロープ」



'74 SPRING~summer fashion

そして優しく

風がわたり  
ふわり春がゆれる  
おしゃれ  
それは心のつぶやき  
ご卒業おめでとうございます。



San-ai | 東京・キンザ 三愛

三宮店 センター街さんプラザビル2・3F  
AM11:00~PM8:00 ☎391-6861